

( トピック型 ) プログラム 活動(ユニット)案 「頭が痛い1・2」

プログラム名 : トピック型日本語プログラム	
授業名	8 頭が痛い
対象児童・生徒	( )小低 ( ○ )小中 ( ◎ )小高 ( )中学生 ◎: 主な対象 ○対象
時間	( 25 )分 × ( 2 )回
形態	( ◎ )少人数グループ ( ◎ )個別
日本語の力 (ことばの 力のものさ しで)	・身近な物や出来事についての簡単な質問を聞き、ジェスチャーを用いながら、主に単語で答えることができる。(聞く・話す) ・ひらがな清音を半分程度読んだり、書いたりすることができる。(読む・書く)
	[聞く・話す] ステップ1 [読む] ステップ1 [書く] ステップ1
	[聞く・話す] ステージC [読む] ステージC [書く] ステージC
目標 (Can-do)	体の部位や体調を表す語彙・表現を理解し、問いかけに対して、自分の体の状態を簡単な表現で伝えることができる。
既習事項	応答表現 (はい、いいえ)、ある、ない、これ、何、～です/～ですか
語彙・表現	語彙 (太字を目標とし、他は紹介程度でよい)  身体部位：体、 <b>頭</b> 、目、耳、鼻、歯、口、手、足、 <b>お腹</b> 、 状態を表す形容詞： <b>痛い</b>
	表現  ・どうしたの? ・だいじょうぶ ・体調を表す表現：頭が痛い、気持ちが悪い、熱がある、 ～がかゆい など ・言いましょう/書く、歌う、読む
コア日本語 (文型・文法/語彙)	・イ形容詞文 (肯定) 「(名詞 体の部分)が(形容詞)です。」 ・場所の指示詞・疑問詞：ここ、どこ ・身体部位
主な活動	学習活動
	学習方略
実施上の留意点	・児童の実態に応じ、使用頻度の高い体の部分を優先的に扱い、語彙数を調整する。 ・宗教により他者が身体の一部(例：頭)を触ることがタブーとなるので注意する。 ・発音や聞き取りが十分でない児童には、ゆっくり、意味のまとまりを意識して話す。 ・母語支援者がいる場合は適宜母語で補助したり、翻訳資料を利用したりする。
アイデア	<児童生徒の多様性への対応> ・ひらがな習得状況に応じて、なぞり書きやローマ字のルビふり(母語による)をする。ただし、ひらがなの定着を妨げないよう一時的な補助とし、段階的に減らす。 ・中学生の場合、「頭痛」「腹痛」「発熱」等の漢字語彙も併せて示し、健康観察カードや保健室便りで用いられる語彙が理解できるようにする。
	<他のプログラム・教科との関連> ・トピック型「生理用品をもらう」。小学校高学年以上の女子の場合、来日直後の段階から「生理です。お腹が痛いです=生理痛」を学び、適切に伝えられるようにする。 ・技能・タスク型(保健室便りを読む-健康に関する情報を得る) 例：「のどが痛いときは、水分を多く摂りましょう。」

◎教材のヒント 体調を表す言い方の翻訳資料

特に来日直後の児童生徒は、母語が通じない環境で体調の伝え方や保健室の利用の仕方が分からず、不調の訴えを我慢してしまうことがあります。児童生徒が指さして体調を伝えることができるよう、所属学級や国際教室、保健室などにイラストや翻訳資料を掲示することも、彼らが安心して学校生活を送るために私たちができる支援の一つです。

東京学芸大学教育学部学校教員養成課程 D 類養護教育専攻ウェブサイト


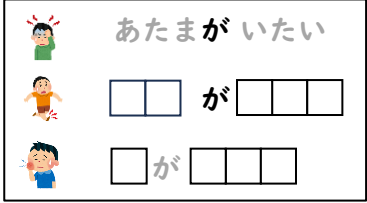
<https://sites.google.com/view/tguyougokyouikouza/%E6%95%99%E5%93%A1%E3%81%AE%E6%88%90%E6%9E%9C%E7%89%A9%E7%B4%B9%E4%BB%8B?authuser=0>

日本の保健室と養護教諭を紹介する「紹介パンフレット」(\*18か国語)と、「からだの部位と症状パンフレット」(\*26か国語)をダウンロードすることができます。


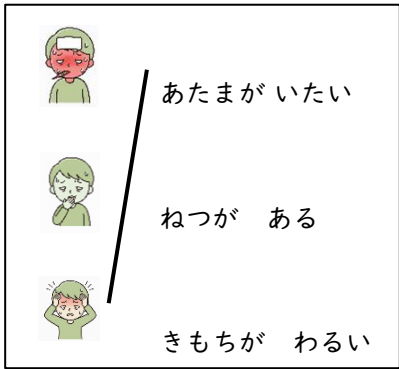
\*1 英語、韓国語、中国語、スペイン語、タガログ語、ポルトガル語、トルコ語、ベトナム語

\*2 英語、韓国語、中国語、スペイン語、タガログ語、ポルトガル語、

## 活動案 【頭が痛い1】

本時の目標		体の部分の名前と「痛い」を組み合わせて、体調をたずねたり伝えたりすることができる。	
時間	活動の展開	活動を行うための表現	○教材 ◇教師の支援 △留意点
7分	導入 1 身体部位の名称名を知る。 ・部位名聞いて、リピートする。 身体部位：頭、目、耳、鼻、歯、口、手、足、お腹 ・自分の体を指しながら発話する。	T：（体全体のイラストを見せて）体です。言いましょう。 T：（絵カードを見せて）目。 S：目。 T：（自分の体を指さしながら）頭、どこ？ S：ここ。頭。	○体全体のイラストと身体部位の絵カード（例）  △身体部位名は母語でも確認する。
20分	展開 2 歌に合わせて、身体部位名を言う。 3 ジェスチャーや文カードを見て、体の部分と「痛い」を組み合わせて発話する。 4 体調についてやりとりをする。 ・教師が演じるやり取りを見て、リピート練習 ・やりとりで	T：（デモンストレーションを最初に見せて）歌いましょう。 T：（頭を指さして）ここは？ S：頭。 T：（頭を痛がるジェスチャーをして）痛い。頭が痛い。（文カードを提示して）頭が痛い。 S：頭が痛い T：（頭を痛がる T <sub>2</sub> を心配して）どうしたの？ S：頭が痛い。 T：だいじょうぶ？ S：だいじょうぶ。	○「ロンドン橋落ちた」の旋律で頭、肩、手、足、手、足、手、足、頭、肩、手、足、手、足、手、足、目、耳、鼻、口 △歌の導入時は、指さしを明確に行い、ゆっくりとした速度で歌う。徐々に速度を上げていく。 ○文カード（例） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             が いたい           </div> ◇文カードの〔体の部分〕に当たる部分に絵カードを置き、文生成のパターンを視覚的に示す。 △ペープサートで一人二役で演じる。TTの場合は、二人で演じる。 △「とても痛い。」などの大丈夫でない場合の伝え方にも触れ、今後の学習につなげる。
25分	まとめ 5 イラストを見て、体調を表す文を完成させる。	T：（ワークシートを提示し、頭を指差しなどしながら、一緒に読む）頭が… S：あたまが…いたい T：（足を差して）ここは？ S：あしが…いたい。 T：書きましょう。	○ワークシート（例） <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;">  </div> ◇負荷を下げるため、身体部位と「痛い」のみを空欄にしたワークシートを準備する。
評価対象と方法		活動2 身体部位名を聞き、自分の体の同じ部分を指さしながら言うことができるか。 活動3 身体部位名と「痛い」を組み合わせて、話したり書いたりして体調を伝えようとしているか。	

## 活動案 【頭が痛い2】

本時の目標 さまざまな体調を表す言い方を言ったり読んだりして、体調を伝えることができる。			
時間	活動の展開	活動を行うための表現	○教材 ◇教師の支援 △留意点
5分	導入 1 前時の復習 ・体の部分の名前を発話する。 ・歌で確認する。  ・「どこが痛いか」発話する。	T: (頭やお腹を指して確認) ここは? S: あたま  S: (「ロンドン橋落ちた」の旋律で身体部位を指しながら) 頭、肩、手、足…  T: (頭を抱えて痛そうにする) あたまが… S: いたい (他の部位も共に確認)	○前回のワークシート ○体の部分の絵カード  △口慣らしのためにも、カードをテンポよく示して、また、歌に合わせて、復習する。
15分	展開 2 教師が示すイラストやジェスチャーを見て、体調を表す言い方を知り、リピートする。  3 体調を表す言い方とイラストを線で結ぶ。  4 体調を表す言い方を使って、「けんこうすごろく」をする。	T: 言いましょう。(イラストを見せたりジェスチャーをしたりして) 気持ちが悪い。 S: 気持ちが悪い。 表現: 気持ちが悪い、熱がある、怪我をした、～がかゆい、など  T: (絵を指さして) あたまがいたい、ですか、ねつがある、ですか? きもちがわるい、ですか? S: ねつがある T: 書きましょう。(線を書くように促す)  T: すごろくをしましょう。さいころを振ります。 …2です! 2、進みます。(マスを見て) どうしたの? S1: (読む) 頭が痛い。 S2: だいじょうぶ? S1: ありがとう。 T: じゃあ次はS2さん。さいころをふります。	○体調を表す絵カード (例)   ○ワークシート (例)   ◇同じワークシート拡大して/あるいはスライドにして示し、指し示しながら、指示が理解できるようにする。 ○けんこうすごろく (参照: 教材のヒント)、さいころ、消しゴム ◇既習の「どうしたの?」「だいじょうぶ?」という表現を想起させ、自然な声かけが児童同士で行われるよう促す。
25分	まとめ 5 ワークシートを見て、学んだ表現を確認する。	T: (ワークシートを示し) もう一度、言いましょう。 S: あたまがいたい。	◇学習したことを、意味・音・文字を結び付けて振り返るために、ワークシートで、再度確認する。
評価対象と方法	活動3 体調の表現を読み、イラストと対応させることができたか。 活動4 「すごろく」ゲームに進んで参加し、体調をたずねたり伝えたりできたか。		

◎教材のヒント けんこうすごろく

さいころを振り、数を数えながらこまを進めます。止まったところで、児童生徒は「頭が痛い」などと答えます。絵のないこまに止まった場合は、「元気!」と答えます。ゲームに慣れてきたら、「どうしたの?」「だいじょうぶ?」「お大事に。」など、自然なやりとりも取り入れます。

JYL プロジェクト こどもの日本語ライブラリ「外国人生徒のための会話練習教材『会話練習帳 中学生』」P.11 | [https://www.kodomo-kotoba.info/booklet/pdf/wb\\_shidoJ\\_kaiwa\\_V1.pdf](https://www.kodomo-kotoba.info/booklet/pdf/wb_shidoJ_kaiwa_V1.pdf)